

ワシントン大学短期語学留学に参加して

北海道教育大学 旭川キャンパス
英語教育専攻 2年 中谷 亮太

私は、2013年2月18日から同年3月9日の約3週間にわたって、ワシントン大学短期英語プログラム(STEP Program)に参加しました。本稿では、当プログラムに参加を考えている人のための注意事項を、私の経験を通して記述させていただきます。内容としては、(1)プログラムの概要、(2)シアトルの生活面における注意点、(3)持ち物、以上の3点を含んでいます。出発前のイメージづくりの参考にさせていただければと思います。

(1) STEP Program

最初に正直なことを言っておくと、プログラムの内容自体はとても易しいです。複雑な英文を扱ったりしませんし、ましてや大学受験で扱うような文法事項も必要としません。なぜなら、このプログラムの目的は、**Fluency**、つまり英語を正確に「聞いて」、淀みなく「話す」ことだからです。したがって、授業は、リスニングとスピーキングが中心になります。

授業は、午前中で9時半から12時半の3時間ですが、アクティビティがほとんどのため、長くは感じられませんでした。具体的な内容を紹介すると、ペアで自分のこと(前日したことや週末の予定、自分が行ったおすすめの観光スポット)を英語で話したり、グループに分かれて英語でディベートをして、英語で発表したりしました。ちなみに、授業中は英語しか話してはいけません。日本語を使うと、先生に厳しく注意されます。また、リスニングの教材としてシアトルに関連する映画を見ました。映画の内容に関する質問も出されて、その時にもペアの人とももちろん英語で相談します。このように、とにかく英語漬けになります。初めは、ゲンナリしますが、すぐに慣れます。1週間もしたらいつも英語で話すことを考えるようになります。自然に脳が英語で満たされていくのです。

つまるところ、私の言いたいこととしては、そんなに気張らなくてもいい、ということです。英語がまったくしゃべれなくても構わないのです。結局は英語を喋らなくてはならないのですから。先生は当然サポートしてくれますし、周りの人も苦しみがわかるわけですから助けてくれます。英語をしゃべれるようになりたいという気持ちと英語を使ってみようというちょっとした勇気があれば、あなたの留学は間違いなく成功します。

(2) シアトルでの生活

海外で生活することは、当然日本での暮らしと比べて何かしらの違いがあるわけです。それは、不便に感じることもありますし、また新鮮に感じたり、快適に思うこともあるでしょう。ここでは、事前に知っておいたほうが良い日本との相違点を紹介します。

まず、気候です。思っているより寒いです。特に北海道の人は要注意です。いくら気温がプラスと言っても、雨も降りますし、基本的に寒く感じると思います。防寒はしっかりしていったほうが良いです。先ほど雨が降るといいましたが、すごく頻繁に降ります。晴れた日の方が珍しいくらいです。よって、雨具は必須です。

次に、移動手段です。留学中はバスを使った移動が全てになります。バスの使用も日本と大きく違います。アメリカのバスは、主要道路ごとに設置されています。〇条×丁目や〇〇前ではなく、〇番道路というように設置されています。つまりバス停の数が多いわけです。するとどうなるかというと、バスの時間が大きくずれたりしたり、間違ったバスに乗る可能性が増えるわけです。なので、出国前にとりあえず学校に行く道は、2~3個持って方がいいと思います。また、バスの乗り方が違います。料金方式が大きくことなっているため、乗り方も変わり、混乱する人が多いと思います。これも出国前に詳しく調べておくのがよいでしょう。また、学校側から U-Pass というものの購入が勧められます。これはいわゆる、1か月バス乗り放題券のようなもので、最初にお金を払って慌てることはなくなります。私もおすすめします。

最後に、金銭についてです。アメリカはカード社会です。今や現金で買い物の方が珍しくなっているくらいです。私も現金は持っていきましたが、やはりカードを使った方が清算が速かったりして、最終的にはカードばかり使っていました。また、お店の人も日本の店ほど現金の扱いがうまくありません。例えば、198円のものを買って、203円払って、5円のおつりみたいなことはできないと思った方がいいです。あと、大きい額の紙幣は怪しまれたり、使えないことが多いです。私は100ドル札と50ドル札を使ったとき、よく確認されました。こういった面倒なことを避けるためにもクレジットカードを持っていた方がいいでしょう。

(3) 持ち物

あれもこれも持って行かなきゃとって荷物がパンパンになっている人がよくいます。私の周りにもいました。しかし、みなさんはもちろんお土産をたくさん買って帰るわけですから、荷物はできるだけ少ないに越したことはないです。荷物を少なくする簡単な方法は、持っていないことです。そのためにここでは、これはないと困る、そんなものをみなさんにお教えしようと思います。

○衣類

アメリカの一般家庭では、洗濯は「1週間に1回」が普通です。なので、下着は最低でも7組は必要なのわけです。衣類は現地調達できると思っているかもしれませんが、それは危険な考えです。私の身長は177センチなのですが、留学中に買った服は全てSサイズです。わかりましたか？衣類は全てアメリカンサイズなのです。だから、体の大きい人以外は、現地調達をできなくはありませんが、少し難しくなります。うまく着まわせる服を持っていきましょう。現地のドラッグストアに行けば、ファブリーズが売っています。それで問題なく生活できます。一番困るのは、服が荷物のスペースを圧迫してしまうことです。衣類はできれば、スーツケースの半分より少なく済ませたい所です。

○ヘルスケア

コンタクトレンズや洗浄液はもちろんのこと、肌に触れたりする薬品は日本のものを持ち込んだ方がいいと思います。日本とアメリカでは成分の基準も異なります。

○サブバッグ

私はリュックをおすすめします。よく、リュックはスリに狙われやすいと言いますが、自分できちんと管理していれば問題ありません。在米中は、徒歩での移動が多くなります。こういうときにワンショルダーや手提げカバンだと邪魔に感じる人が多いと思います。リュックだと両手が空きますし、活動に

支障が出にくいです。また、アメリカは有名アウトドアメーカーが多く、関税の関係で日本よりずっと安く、その製品を買えます。足を運んでみるのもいいでしょう。

○パソコン

授業の最後の課題でプレゼンテーションがあります。この時にパワーポイントを使うので、持っていくといいでしょう。ちなみに、大学でもパソコンは使えますが、当然インターフェースは全て英語です。

○ホームステイ先へのお土産

ステイ先は留学生に慣れてます。よって、変に日本っぽいものより、スナック菓子など庶民的なものを持っていったほうが喜ばれます。また、他にも留学生がいることがあるので、仲良くやりましょう。そのためのツールの1つがお土産です。

◎Google Map

これがなければ、私は何度もアメリカの地で迷子になっていたと思います。すごく役に立ちます。目的地までのルート調べると、バスや電車の時間まで出てきます。また、1回 Wi-Fi のあるところで調べてしまえば、オフラインでも地図が残ってそのまま GPS が使えるという小技も知っておくと便利です。

〇終わりに

いかがでしたでしょうか。ここまで書いたことは、私が行く前や在米中に実際に困ったことです。みなさんが行く前に、少しでも不安を解消できたなら幸いです。最後にどんなことよりも大事なことを書いておきます。それは、勇気を持つことです。せっかく海外に来たのだから、時間の許す限りたくさんことに挑戦してください。自分の殻に閉じこもっては、せっかくの30万円が水の泡です。ほんの一瞬でいいから、自分を励ましてみてください。頭の中で「私はできる。やってみよう。」と思ってください。それが、あなたの留学を成功させる一番の鍵なのですから。

